

2024年度事業報告

1 課外活動支援

(1) クラブ・サークル支援

- ① 公認団体で申請のあったクラブ・サークルの運営費等の支援を行った。(94 団体 総額 12,826 千円)
- ② ふたば祭・銀杏祭(杉本)、白鷺祭・友好祭(中百舌鳥)、杏樹祭(羽曳野)の大学祭実行委員会、音響企画委員会ステージマネージャー部・白鷺音響企画共同体スタッフ1、三大学学生研究討論会へ支援を行った。(総額 2,180 千円)
- ③ クラブ部室の物品にかかる火災保険料への支援は、制度内容検討のうえ、今年度より廃止した。
- ④ OMUS Aが実施するスポーツフェスタへの支援を行った(総額 1,000 千円)

(2) クラブ・サークル特別支援

課外活動全体の活性化のための、共通ないしは特別な事業、施設の建設・補修、設備整備等の事業費を支援した。

整備助成内容	場 所	金 額 (千円)
グラウンドハウス (合宿所) 2 階改修費	杉本キャンパス	6,858
弓道部防矢ネット設置費	中百舌鳥キャンパス	603
C3 棟出入口手すり補修費	中百舌鳥キャンパス	380
合 計		7,841

(3) その他

親子でアート造形事業に対するボランティア活動への支援および杉本キャンパス 1 号館前庭デザイン提案にかかる活動への支援さらに大学の高度人材育成推進センターが実施する“ビジネスアイデア・コンテスト”入賞者に対し、教育後援会賞として副賞を授与した。(総額 266 千円)

2 福利厚生支援

(1) 福利厚生事業

阿倍野キャンパスの学生の憩いのスペースづくり事業(ロビーチェア、ミーティングテーブル等の購入)の支援を行った。(総額 1,493 千円)

3 就職活動支援

(1) キャリア就職活動支援

就職活動をサポートするための「就職手帳」の作成費の支援を行った。(総額 785 千円)

(2) その他

就職活動を補助するためにキャリア支援室に配置する就職関連図書の購入の支援を行った。(総額 245 千円)

4 表彰事業支援

(1) 学修奨励賞・学業成績優秀賞・白鷺賞

学修奨励賞(40名)として、大学選考の成績優秀者2回生に副賞(図書カード)を授与(11/3学生表彰式典実施)、学業成績優秀賞・白鷺賞(37名)として、大学選考の最優秀成績者の4回生(医学科・獣医学部は6回生)に副賞(懐中時計)の授与を行った。(3/21学生・教員表彰式典実施)(総額1,066千円)

(2) 課外活動賞

最優秀課外活動賞1団体・1個人・1ペア、優秀課外活動賞2団体・1個人、資格試験等優秀成績表彰22個人(国家公務員5名、公認会計士1名、英検1級1名、TOEIC900点以上7名、簿記検定1級1名、司法試験2名、司法書士試験1名、応用情報技術3名、IELTS overall6.5・1名)、社会貢献活動賞1団体の表彰及び副賞の授与を行った。(3/21学生・教員表彰式典実施)(総額478千円)

(3) 優秀教育賞

本学において優れた教育を行う教員を顕彰し、副賞の授与を行った。受賞者2名:垣田裕介氏(生活科学研究科・教授)、吉武信二氏(現代システム科学研究科・教授)(3/21学生・教員表彰式典実施)(総額200千円)

(4) 優秀テキスト賞

優れた教科書を出版した教員を顕彰し、副賞の授与を行った。申請6件、表彰5件(3/21学生・教員表彰式典実施)(総額250千円)

(5) 女性研究者顕彰

女性研究者支援室が実施した創造的かつ意欲的に研究教育を行っている女性研究者・学生を顕彰した。「奨励賞」「特別賞」(以上、岡村賞)の副賞の支援を行った。受賞者:大学院生奨励賞 吉原晶子氏(理学研究科)小西亜侑氏(理学研究科)山中里奈氏(工学研究科)木下千紗都氏(看護学研究科)(総額202千円)

5 教育環境支援

(1) OMUラーニング支援

在学中の学生の自主的・能動的な学修とそれを促す教育をサポートするための「OMUラーニングセンター」の活動の支援を行った。(総額1,000千円)

(2) 教育環境整備支援

学内施設の整備・改修や設備・備品類の設置など、教育環境の整備、充実を進めるための事業を支援した。

整備助成内容	配置キャンパス等	金額(千円)
課外活動棟等施設修繕費4ヶ所	中百舌鳥	4,459
多目的テント購入費・厩舎空調設備費	杉本	3,250
テーブル等什器類購入費	りんくう	593
植物除草機購入費	附属植物園	465
合 計		8,767

(3) 学部・大学院学生旅費(国内・国外)等補助事業

学部・大学院学生が国内・国外で開催される学会・シンポジウム・研究会・研究者交流・

フィールドワーク等へ参加費用等の補助を行った。学部学生は国内を 3 万円、海外を 6 万円を上限とし、大学院学生は国内を 5 万円、海外を 10 万円を上限として支援。申請者 267 件（総額 11,078 千円）

(4) 学生選書支援

学術情報課が実施する学生選書の図書購入費（各キャンパス図書館）への支援を行った。（総額 2,627 千円）

(5) グローバルリーダー育成奨学金制度

学部・学域 2 年次のうち、将来グローバルな視点と深い専門性を兼ね備えた国際性豊かなリーダーとして世界に貢献する人材育成のため本学独自の奨学金制度を支援した。採択奨学生 7 名（継続者含む）（総額 2,100 千円）

(6) 教育研究活動支援

学部・学域、研究科の教育研究活動で生じる諸経費の一部の支援を行った。申請 14 件、採択 10 件（総額 5,099 千円）

(7) その他

PC 教室に代わる新しい情報教育環境整備事業への一部支援費およびキャンパス間交通費の一部の支援を行った。（総額 1,148 千円）

6 語学・国際交流支援

(1) 海外留学保険料支援事業

国際的視野を有し世界で活躍できる人材育成のため外国への留学する学生を支援するため、留学期間の海外留学保険料の補助を行った。申請 108 件（総額 1,652 千円）

(2) 語学試験受験費用支援

外部外国語検定試験：公開 TOEIC、TOEFL、IELTS などの語学試験受験料の一部の支援を行った。（総額 3,716 千円）

内 容	補助額（1 回あたり）	利用者数
公開 TOEIC	4,000 円	797 名
TOEFL	7,000 円	28 名
IELTS	7,000 円	8 名
合 計		833 名

(3) 留学生支援事業

留学生支援のため、日本語弁論大会などの企画・事業へ支援を行った。（総額 206 千円）

7 保護者交流支援

(1) 新入生保護者懇談会の開催

- ・ 5 月 25 日（土） 杉本キャンパス 参加者 279 名
- ・ 6 月 1 日（土） 中百舌鳥キャンパス 参加者 225 名
- 第 1 部 全学懇談会 第 2 部 学部・学域別懇談会

(2) 保護者就職説明会の開催

- ・ 7 月 27 日（土） 参加者 436 名
- 第 1 部 「公大・市大・府大の就職状況」

第2部 現役学生さんが語る就活秘話

第3部 保護者のための就活応援講座

(3) 保護者交流企画事業の開催

- ・「桑原希世子先生に学ぶ地球学実習～ 中百舌鳥キャンパスツアー」

9月7日（土）参加者 55 名

- ・「建築史家倉方先生とめぐる杉本キャンパスツアー」

10月5日（土）参加者 57 名

- ・「りんくうキャンパスツアー」

11月16日（土）参加者 53 名

- ・「第3回ホームカミングデー」

杉本キャンパス 11月3日（日祝） 参加交流委員 11 名

中百舌鳥キャンパス 11月4日（月振休）参加交流委員・学生支援委員 14 名

- ・わがセンセの学（楽）問のススメ 12月14日（土）参加者 168 名

講演「火山の噴火とその災害」 三浦 大輔先生

学生パフォーマンス（マジックサークルH A T、邦楽部、アイドルコピーダンスサークルにゃん恋）

講演「耳でとらえる平安京のサウンドスケープ」 中川 眞先生

8 機関会議の開催

(1)定例評議員会

開催日 2024 年 6 月 22 日（土）

場 所 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館 多目的ホール

出席者 25 名（委任状出席含む）

- | | | |
|-----|----------------------|---------------------|
| 議 案 | 1号議案「役員選出の件」 | 2号議案「評議員選出の件」 |
| | 3号議案「2023 年度事業報告の件」 | 4号議案「2023 年度決算報告の件」 |
| | 5号議案「2024 年度事業計画案の件」 | 6号議案「繰越剰余金活用の件」 |
| | 7号議案「2024 年度収支予算案の件」 | |

(2)役員会

開催日 2024 年 6 月 22 日（土）

場 所 中百舌鳥キャンパス 学術交流会館 多目的ホール

出席者 20 名（委任状出席含む）

- | | | |
|-----|----------------------|---------------------|
| 議 案 | 1号議案「役員選出の件」 | 2号議案「評議員選出の件」 |
| | 3号議案「2023 年度事業報告の件」 | 4号議案「2023 年度決算報告の件」 |
| | 5号議案「2024 年度事業計画案の件」 | 6号議案「繰越剰余金活用の件」 |
| | 7号議案「2024 年度収支予算案の件」 | |

(3)運営理事会

①開催日 2024 年 6 月 7 日（金）

場 所 杉本キャンパス 田中記念館 2 階「会議室」

出席者 10 名

報告事項 (1)学生支援事業・学生支援委員会について

(2)2024 年度入会者数・入会率について

(3)入学手続きオンラインシステムについて
審議事項 (1)2024 年度役員会・定例評議員会への提出案件について

②開催日 2025 年 2 月 26 日 (木)

場 所 杉本キャンパス 田中記念館 2 階「会議室」

出席者 12 名

報告事項 (1)2024 年度保護者交流事業の実施状況

(2)三者協議会の開催について

審議事項 (1)2024 年度学生支援事業の実施状況について

(2)入学手続きのオンライン化について

(4)学生支援委員会

各種学生支援事業の実施にあたり、事業内容等の検討や意見の聴取を行った。また、事業の実施に必要な評価、選定作業等について本委員会において実施した。

第 1 回 2024 年 8 月 28 日 (水)

第 2 回 2025 年 1 月 30 日 (木)

委員会の構成 (氏名省略) 12 名、保護者・大学関係者により構成

(5)保護者交流委員会

保護者交流企画事業に関する企画および運営を行うため、保護者会員より構成された本委員会において検討、実施した。

第 1 回 2024 年 5 月 8 日 (水)

第 2 回 2024 年 7 月 12 日 (金)

第 3 回 2024 年 11 月 1 日 (金)

第 4 回 2025 年 1 月 24 日 (金)

第 5 回 2025 年 3 月 26 日 (水)

委員総数 44 名

委員構成 (氏名省略)

現シス 5、文学 2、法学 2、経済 3、商学 7、理学 6、工学 10、

農学 3、獣医 1、医学リハ 1、看護 2、生科 2

9 広報活動・加入促進

(1) 広報活動 (各種事業など教育後援会の活動案内・募集、事業報告)

- ・教育後援会ホームページ、SNS (X、Instagram) への掲載
- ・大学ホームページ、UNI PA (学生向けポータル) への掲載
- ・各種事業・入会案内の配付
- ・保護者交流会だより 3 号の発行 (1 万 2 千部)
- ・事業開催案内の E メール送付 (会員)、ダイレクトメール (一部)
- ・各学園祭パンフレット、就職手帳への事業案内掲載
- ・大学から提供された情報の広報協力 (OMU 基金募集、大学主催の就職説明会案内など)

(2) 加入促進

- ・入学のしおり（入試課発行）への入会案内等の掲載（2025 年度より一部変更）
- ・入学手続き会場での入会受付、事業案内（2024 年度入学者）

(3) 入学・入会システムによるオンライン手続きの運用

※2025 年度入学者（一般選抜）より開始

- ・教育後援会入会システムの開発と運用
- ・大学入学システムと本会入会システムの連携のための連絡調整

【入会率向上の取組み】

- ・合格者に対する事業・入会案内の送付（3 月）
- ・入学式における事業・入会案内（4 月）
- ・学生証交付会場における事業・入会案内（4 月）
- ・未入会者に対する事業・入会案内の送付（5 月）
- ・イベント会場における入会促進の取組み（5 月～）
- ・大学名による未入会者に対する事業・入会案内の送付（6～7 月）

【入会率向上の課題】

- ・大学入学システム運用の改善
- ・大学からの合格通知送付時の事業・入会案内の送付
- ・入会促進に繋がる新たな支援事業の開発

監 査 報 告 書

2024 年度大阪公立大学教育後援会監査報告書

監査実施日 2025 年 5 月 28 日

監査実施者 会務監事 浦西秀司

同 安竹貴彦

1. 監査対象

(1) 名 称 大阪公立大学教育後援会

(2) 代表者 会長 辻 洋

(3) 所在地

(代表オフィス)

大阪市住吉区杉本 3-3-138 田中記念館 2 階

電話 06-6605-3420

(4) 設立年月日 2022 年 4 月 1 日

(5) 立会役員 大阪公立大学教育後援会常務理事 大場 茂明
大阪公立大学教育後援会事務局次長 藪中 昭二
大阪公立大学教育後援会事務局次長 箱 幸一

2. 監査結果

私たちは、大阪公立大学教育後援会の 2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの 2024 年度の会務の執行について監査を行った。

監査の結果、会務の執行は、概ね法令及び会則に従い評議員会及び役員会の決議に基づき誠実に執行されているものと認める。ただし、以下の所見を付する。

(1) 入会率の低下に伴って、来年度の学生支援事業については縮小、減額あるいは休止せざるを得ないだろうが、可能な限り入会者に対する影響が少なくなるよう配慮されたい。

(2) 支援事業の再検討にあたっては入会者に限定して会費が還元される事業と、会費の積み上げで全体的、公共的に実施している事業とのバランスを考慮し、それぞれのメリットを学生・院生・保護者などに示しながら入会促進の取組みを進めてほしい。

(3) 身体的・精神的な理由により就学支援が必要な学生も多くなっている。教育後援会としてこのような学生やサポート事業に対する支援策を検討できないか。